

# 益田市歴史文化基本構想

平成 31 年 2 月

益 田 市  
益田市教育委員会



## はじめに

現在の益田市は、平成16（2004）年、旧益田市と美都町・匹見町の1市2町の合併により誕生し、島根県最大の面積を誇る自治体となりました。中国山地から日本海まで変化に富んだ、多様な地域を含む益田市は、地域それぞれに豊かな歴史と文化をはぐくんできました。

全国的な流れと同様に、益田市もまた過疎や少子高齢化といった困難に直面しており、これまで地域によって守られ、伝えられてきた歴史と文化の存続にも危機が迫っています。一方、この過疎という人口問題について、益田市はその発祥の地と言われ、過疎と向き合ってきた歴史と経験の蓄積があります。そのような歴史と経験の蓄積は、人口減少時代へと突入した日本全体にとっても、今後のあり方を示すものとして貴重なものであるといえます。

市民とともにすすめた把握調査によってあらためて確認された、古くは旧石器時代から現代に至る多様性に富んだ益田の歴史と文化を、守り、後世に伝えていくため、益田市・益田市教育委員会は、益田市の文化財保護に関するマスタープランとなる「益田市歴史文化基本構想」を策定しました。

本構想は、益田市の文化財保護の基本的方針を定め、文化財をその周辺環境も含めて総合的に保存・活用するための方針を示すものとなっていますが、さらに、文化財を活かした地域づくりに資するものとして活用されることも期待されます。

本市は、市政運営の基本指針として人口拡大への挑戦を掲げておりますが、益田氏城館跡をはじめとする本市固有の歴史文化の活用は、関係人口の増加に結びつくものと考えます。今後、本構想を具体的かつ計画的に実施していくにあたり、関係皆様のより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、本計画の策定にあたり、地元関係者をはじめ、益田市歴史を活かしたまちづくり検討委員会委員の皆様、文化庁、島根県教育委員会から、多大なご支援とご指導、ご助言を賜りましたことに対し、深く感謝申し上げます。

平成 31 年 2 月

益田市長

**山本 浩章**

益田市教育長

**柳井 秀雄**

## 例 言

1. 本構想は、島根県益田市の歴史文化及び文化遺産の保護と活用のマスタープランである。
2. 本構想策定事業は、平成29(2017)年度、平成30年度(2018)年度の2か年にわたり、益田市が文化遺産総合活用推進事業国庫補助金を受けて実施した。
3. 本構想は、文化庁地域文化創生本部広域文化観光・まちづくりグループ、島根県教育庁文化財課の指導・助言を得ながら、益田市歴史を活かしたまちづくり検討委員会での検討及び益田市歴史文化基本構想有識者懇話会からの意見に基づき、益田市・益田市教育委員会が策定した。なお、本構想は、パブリックコメント等を通して市民からの意見を反映させたものである。
4. 本構想で使用した図面等の一部は、株式会社地域計画工房に作成を委託した。
5. 調査から策定に至るまで、文化財の所有者・所蔵者・管理者・各機関や文化財総合的把握調査員にご協力いただいた。記して感謝申し上げる。

# 目 次

はじめに

<b>第 1 章 益田市歴史文化基本構想策定の概要</b> -----	<b>1</b>
1 歴史文化基本構想策定に至る経緯	1
(1)益田市の歴史を活かしたまちづくりの原点	1
(2)歴史文化基本構想の策定の背景と目的	2
(3)益田市歴史文化基本構想の意義	4
2 歴史文化基本構想の位置づけ	6
(1)歴史文化基本構想の全体的な位置づけ	6
(2)上位計画	6
(3)関連計画等	7
3 歴史文化基本構想策定の体制と経過	10
(1)策定体制	10
(2)策定経過	12
4 歴史文化基本構想の構成と作成の手順	15
<b>第 2 章 益田市の概要</b> -----	<b>17</b>
1 自然・地理的環境	17
(1)位置・交通条件	17
(2)地勢及び地質	20
(3)植生	23
(4)気象	25
2 社会的環境	26
(1)人口	26
(2)入込観光客数の推移	29
(3)博物館・資料館及びその他文化施設等	30
(4)歴史・文化・芸能団体等	32
3 歴史的環境	35
(1)益田の黎明 — 旧石器・縄文時代 —	35
(2)稲作・定住と小首長の登場 — 弥生時代 —	36
(3)有力な首長の登場と古墳 — 古墳時代 —	37
(4)官衙・式内社と柿本人麿 — 古代(奈良・平安時代) —	38
(5)中世の益田と益田氏 — 平安末期・鎌倉・南北朝・戦国・安土桃山時代 —	39
(6)幕府領・浜田藩領・津和野藩領の境界の地 — 近世(江戸時代) —	40
(7)前近代の交通網の発展	41
(8)内陸水運と海運の発展	43
(9)近代化と過疎 — 近現代(明治・大正・昭和・平成) —	43
(10)益田市の歴史を活かしたまちづくり	44
(11)益田市の歴史の変遷	45

<b>第3章 益田市の文化財の把握と歴史文化の特色</b> -----	<b>47</b>
1 文化財把握の方針 .....	47
(1)文化財の把握の対象 .....	47
(2)文化財の総合的把握調査の手法 .....	49
(3)文化財の調査結果の管理と活用の方向 .....	51
2 歴史文化の現状と特色 .....	52
(1)指定等文化財の現状 .....	52
(2)文化遺産の把握状況 .....	55
(3)益田市の歴史文化の特色 .....	57
<b>第4章 歴史文化の保存・活用の理念と基本方針</b> -----	<b>69</b>
1 歴史文化の保存・活用の理念 .....	69
2 歴史文化の保存・活用の基本方針 .....	69
(1)みんなで歴史文化の価値と魅力を知り、共有する .....	70
(2)みんなで歴史文化を守り、次の世代に伝える .....	71
(3)みんなで歴史文化を活かし、さらに輝かせる .....	72
<b>第5章 関連文化財群の設定と内容</b> -----	<b>75</b>
1 関連文化財群の設定 .....	75
(1)関連文化財群の考え方と設定方針 .....	75
(2)益田市における関連文化財群の設定 .....	76
2 関連文化財群の内容～ストーリーと構成要素～ .....	77
(1)西中国山地・高津川・日本海が織りなす景観 .....	77
(2)落葉広葉樹林に育まれた縄文のムラ・匹見 .....	81
(3)大型古墳と台頭する有力者層の古墳 .....	84
(4)千年の歴史を誇る都茂鉾山 .....	87
(5)益田氏と雪舟がつくり上げた中世のまち益田 .....	91
(6)日本海に漕ぎ出した益田の人々 .....	95
(7)幕府領・津和野藩領・浜田藩領の境界の地 .....	99
(8)柿本人麿の伝承と信仰 .....	102
(9)自然に祈り、弔った人々 .....	105
(10)人々の生活に息づく芸能 .....	109
(11)山と川の恵み .....	113
(12)過疎に向き合い、ふるさとに生きる人々 .....	117
<b>第6章 歴史文化保存活用区域の設定と内容</b> -----	<b>121</b>
1 歴史文化保存活用区域の設定の考え方 .....	121
(1)歴史文化保存活用区域を設定する目的と目標 .....	121
(2)歴史文化保存活用区域の設定方針と役割 .....	122
(3)歴史文化保存活用区域の設定 .....	123
2 益田市歴史文化基本構想における歴史文化保存活用区域 .....	125
(1)中世益田歴史文化保存活用区域 .....	125

(2)柿本神社歴史文化保存活用区域	128
(3)鉾山とまち並み歴史文化保存活用区域	130
(4)縄文遺跡群歴史文化保存活用区域	132
(5)高津川及び匹見川の文化的景観歴史文化保存活用区域	134
(6)旧山陰道歴史文化保存活用区域	136

## 第7章 歴史文化の保存・活用の体制と取り組み-----139

1 歴史文化基本構想の実施・推進体制	139
(1)市民参加と協働による歴史文化の保存・活用と管理運営の体制づくり	139
(2)関係人口の活用	139
(3)庁内連携体制の充実・強化	139
(4)関係機関や自治体との連携	139
(5)文化遺産に関する情報の一元管理と発信・普及啓発の体制づくり	140
(6)危機管理の体制づくり	140
2 歴史文化保存・活用の担い手づくり	141
(1)歴史文化保存・活用の担い手の確保	141
(2)歴史文化を活かしたふるさと教育・ふるさと学習の充実	141
(3)歴史文化保存・活用の協力者の確保とネットワークづくり	142
3 歴史文化の調査・研究の推進方針	144
(1)文化財総合的把握調査の継続的な実施	144
(2)文化遺産の専門的調査の計画的な実施	144
(3)研究体制の充実・強化	144
(4)歴史文化と文化遺産の調査及び研究の蓄積と活用	145
4 歴史文化を活かしたまちづくりや地域の活性化	146
(1)関連文化財群の活用に向けた取り組み	146
(2)歴史文化保存活用区域の具体化に向けた取り組み	146
(3)魅力ある地域づくりと活性化に向けた取り組み	146
(4)市民による文化財の「発見」と保存・活用を支援する仕組の検討	148
(5)国内外への情報の発信	148
5 文化遺産の危機管理と防犯・防災と地域との関わり	149
(1)総合的把握調査の成果を活用した文化遺産の危機管理	149
(2)歴史文化と文化遺産から防災を学ぶ取り組み	149
6 保存活用(管理)計画作成の考え方	150
(1)保存活用(管理)計画の目的	150
(2)保存活用(管理)計画に定める事項	150
7 歴史文化基本構想の課題と展開	151
(1)推進における課題	151
(2)文化財の指定についての課題	151
(3)今後の事業展開	151

# 図表目次

図 1-1	平成の合併前の市域	2
図 1-2	歴史文化基本構想の位置付け	9
図 1-3	歴史文化基本構想の策定体制	10
図 1-4	歴史文化基本構想の構成	15
図 2-1	益田市の位置(日本全域)	17
図 2-2	益田市の位置(中国地方)	17
図 2-3	益田市の交通条件	18
図 2-4	益田市歴史文化基本構想における地区・地域区分	19
図 2-5	益田市の地勢(地形など)	20
図 2-6	益田市の地質	22
図 2-7	益田市の植生	24
図 2-8	益田市の植生自然度	24
図 2-9	益田市の気象	25
図 2-10	益田市の人口の推移(国勢調査)	26
図 2-11	地域別益田市の人口(住民基本台帳 [平成 30 年 6 月末時点])	26
図 2-12	地域別人口の推移(国勢調査：大正 9(1920)年～平成 27(2015)と将来推計人口)	27
図 2-13	益田市の人口の年齢構成の推移(年齢 3 区分：国勢調査)	28
図 2-14	地域別益田市の人口の年齢構成(年齢 3 区分：国勢調査)	28
図 2-15	益田市の入込観光客数の推移(観光入込客延べ数)	29
図 2-16	市町村別入込観光客数(観光入込客延べ数)の状況(平成 29 年)	29
図 2-17	益田市の博物館・資料館等	31
図 2-18	江戸時代中頃の幕府領・津和野藩領・浜田藩領の境界	41
図 2-19	近世の主要な往街道	42
図 2-20	益田市域の変遷 1	45
図 2-21	益田市域の変遷 2	46
図 3-1	益田市歴史文化基本構想における歴史文化の対象	47
図 3-2	文化財の体系図	48
図 3-3	文化遺産の総合的把握調査の手法	49
図 3-4	文化遺産の調査結果の管理・活用	51
図 3-5	益田市内の指定・登録文化財の分布～有形文化財(建造物)・史跡等	54
図 3-6	文化遺産の地域・地区別把握件数	56
図 3-7	文化遺産の地域別把握件数	56
図 3-8	文化遺産の種類(全体)	56
図 4-1	歴史文化の保存と活用の基本方針	69
図 5-1	関連文化財群の設定フロー	75
図 5-2	「西中国山地・高津川・日本海が織りなす景観」の代表的な資源	80
図 5-3	「落葉広葉樹林に育まれた縄文のムラ・匹見」の代表的な資源	83
図 5-4	「大型古墳と台頭する有力者層の古墳」の代表的な資源	86
図 5-5	「千年の歴史を誇る都茂鉾山」の代表的な資源	90
図 5-6	「益田氏と雪舟がつくり上げた中世のまち益田」の代表的な資源	94

図 5-7	「日本海に漕ぎ出した益田の人々」の代表的な資源	98
図 5-8	「幕府領・津和野藩領・浜田藩領の境界の地」の代表的な資源	101
図 5-9	「柿本人麿の伝承と信仰」の代表的な資源	104
図 5-10	「自然に祈り、弔った人々」の代表的な資源	108
図 5-11	「人々の生活に息づく芸能」の代表的な資源	112
図 5-12	「山と川の恵み」の代表的な資源	116
図 5-13	「過疎に向き合い、地域に生きる人々」の代表的な資源	119
図 6-1	歴史文化保存活用区域の設定	124
図 6-2	中世益田歴史文化保存活用区域の主な構成要素	127
図 6-3	柿本神社歴史文化保存活用区域の主な構成要素	129
図 6-4	鉾山とまち並み歴史文化保存活用区域の主な構成要素	131
図 6-5	縄文遺跡群歴史文化保存活用区域の主な構成要素	133
図 6-6	高津川及び匹見川の文化的景観歴史文化保存活用区域の主な構成要素	135
図 6-8	旧山陰道跡歴史文化保存活用区域の主な構成要素	137
図 7-1	歴史文化基本構想の推進体制	140
表 1-1	益田市歴史を活かしたまちづくり検討委員会	11
表 1-2	益田市歴史文化基本構想有識者懇話会	11
表 2-1	植生自然度の区分	23
表 2-2	益田市の博物館・資料館等	30
表 2-3	市内の神楽団体	32
表 2-4	加入団体一覧	33
表 2-5	構成団体一覧	34
表 3-1	益田市内の指定・登録文化財件数	53
表 3-2	文化財総合的把握調査カード件数	55
表 5-1	益田市における関連文化財群の設定	76
表 6-1	益田歴史文化保存活用区域における文化遺産一覧	126
表 6-2	柿本神社歴史文化保存活用区域における文化遺産一覧	128
表 6-3	鉾山とまち並み歴史文化保存活用区域における文化遺産一覧	130
表 6-4	縄文遺跡群歴史文化保存活用区域における文化遺産一覧	132
表 6-5	高津川及び匹見川の歴史文化保存活用区域における文化遺産一覧	134
表 6-7	旧山陰道歴史文化保存活用区域における文化遺産一覧	136

# 写真目次

写真 1-1	昭和 58 年水害時(益田地区)	1
写真 1-2	都市計画道路沖田七尾線開通式(H14.3)	1
写真 1-3	益田市・美都町・匹見町合併式典	2
写真 1-4	匹見町閉町記念式典	3
写真 1-5	歴史 JAPAN サミット in 益田	4
写真 1-6	主な中世遺跡の位置	5
写真 1-7	オリエンテーション	12



写真 1-8	第 2 回会議開催状況……………	12	写真 5-22	石ヶ坪遺跡……………	82
写真 1-9	第 3 回会議開催状況……………	13	写真 5-23	山崎遺跡で発見された土器埋設炉……………	82
写真 1-10	第 4 回会議開催状況……………	13	写真 5-24	安富王子台遺跡……………	82
写真 1-11	第 5 回会議開催状況……………	13	写真 5-25	若葉台遺跡の落とし穴の遺構……………	82
写真 1-12	第 1 回懇話会開催状況……………	14	写真 5-26	沖手遺跡の丸木舟……………	82
写真 1-13	第 2 回懇話会開催状況……………	14	写真 5-27	三宅御土居跡……………	82
写真 1-14	歴史を活かしたまちづくりシンポジウム ……	14	写真 5-28	本郷遺跡……………	82
写真 2-1	島根県芸術文化センター「グラントワ」 ……	29	写真 5-29	酒屋原遺跡……………	82
写真 2-2	益田市立雪舟の郷記念館……………	31	写真 5-30	水田ノ上遺跡出土の細形銅戈……………	83
写真 2-3	益田市立歴史民俗資料館……………	31	写真 5-31	中小路遺跡出土の石包丁……………	83
写真 2-4	益田市立秦記念館……………	31	写真 5-32	浜寄・地方遺跡の水田跡……………	83
写真 2-5	益田市立旧割元庄屋美濃地屋敷……………	31	写真 5-33	大元古墳群……………	84
写真 2-6	新槇原遺跡……………	35	写真 5-34	スクモ塚古墳……………	84
写真 2-7	水田ノ上 A 遺跡……………	35	写真 5-35	小丸山古墳……………	84
写真 2-8	イセ遺跡……………	35	写真 5-36	鶴の鼻古墳群……………	85
写真 2-9	浜寄遺跡で見つかった水田跡……………	36	写真 5-37	鶴の鼻古墳群……………	85
写真 2-10	サガリ遺跡……………	36	写真 5-38	四塚山古墳出土の三角縁神獣鏡……………	85
写真 2-11	中小路遺跡……………	36	写真 5-39	北長迫横穴群……………	85
写真 2-12	羽場遺跡……………	36	写真 5-40	白上古墳……………	85
写真 2-13	下手遺跡……………	36	写真 5-41	三谷古墳群……………	85
写真 2-14	スクモ塚古墳から日本海を望む……………	37	写真 5-42	江田古墳……………	85
写真 2-15	小丸山古墳出土の金属製馬具……………	37	写真 5-43	和田古墳……………	85
写真 2-16	鶴の鼻古墳群出土の装飾品……………	37	写真 5-44	久城西 I 遺跡……………	86
写真 2-17	「運歩色葉集の人丸の項」……………	38	写真 5-45	浜寄・地方遺跡出土の土師器……………	86
写真 2-18	「益田家文書」の益田兼見謙状……………	39	写真 5-46	本片子窯跡……………	86
写真 2-19	雪舟禅師像（市指定）……………	39	写真 5-47	都茂鉦山……………	87
写真 2-20	元和 4（1618）年前後作成の 「紙本著色石見国絵図」（一部抜粋）……………	40	写真 5-48	安養寺……………	87
写真 2-21	明治頃の津和野町青原の高瀬舟……………	43	写真 5-49	大年ノ元遺跡の竪穴建物跡……………	87
写真 2-22	妙義寺観音堂より益田平野を望む……………	43	写真 5-50	坑道跡……………	88
写真 2-23	三宅御土居跡と七尾城跡を望む……………	44	写真 5-51	露頭掘り跡……………	88
写真 2-24	中須東原遺跡を望む……………	44	写真 5-52	山神社……………	88
写真 3-1	<作成された調査カード（例）>……………	50	写真 5-53	中小路遺跡……………	88
写真 3-2	高津港の北前船……………	63	写真 5-54	酒屋原遺跡……………	88
写真 3-3	人形峠から望む人形岩と三生岩……………	65	写真 5-55	下都茂原遺跡出土の緑釉陶器……………	88
写真 3-4	柿本人麿像（柿本神社（高津町））……………	65	写真 5-56	養老滝……………	89
写真 4-1	文化財防火デー……………	71	写真 5-57	大境……………	89
写真 4-2	匹見下地区で行われている 「とちの実交流会」……………	71	写真 5-58	額田部蘇堤売屋敷跡の碑……………	89
写真 5-1	大神ヶ嶽……………	77	写真 5-59	染羽天石勝神社本殿……………	89
写真 5-2	表匹見峡・小沙夜淵……………	77	写真 5-60	櫛代賀姫神社本殿……………	89
写真 5-3	裏匹見峡……………	77	写真 5-61	佐毘売山神社……………	89
写真 5-4	双川峡……………	78	写真 5-62	豊田神社……………	89
写真 5-5	飯浦海岸……………	78	写真 5-63	石塔寺権現……………	89
写真 5-6	木部の海岸……………	78	写真 5-64	小野神社……………	89
写真 5-7	唐音の蛇岩……………	78	写真 5-65	東陽庵の薬師如来坐像……………	90
写真 5-8	鑓崎及び松島の磁石石……………	78	写真 5-66	大喜庵の木造観音菩薩立像……………	90
写真 5-9	金谷の城山桜……………	78	写真 5-67	妙義寺の十一面観音菩薩立像……………	90
写真 5-10	栃原の高野槇……………	78	写真 5-68	七尾城跡：益田氏城館跡……………	92
写真 5-11	広見の三本栃……………	78	写真 5-69	万福寺本堂……………	92
写真 5-12	若杉の天然杉……………	78	写真 5-70	医光寺総門……………	92
写真 5-13	柿本神社の門前町（高津）……………	79	写真 5-71	三宅御土居跡：益田氏城館跡……………	92
写真 5-14	津田の漁村の景観……………	79	写真 5-72	暁音寺鍵曲がり……………	92
写真 5-15	澄川の山村景観……………	79	写真 5-73	七尾城附妙義寺境内……………	92
写真 5-16	高津川と飯田吊橋……………	79	写真 5-74	御神本国兼像……………	92
写真 5-17	漁り火……………	79	写真 5-75	益田兼見像……………	92
写真 5-18	中河内の棚田……………	79	写真 5-76	益田宗兼像……………	92
写真 5-19	新槇原遺跡……………	81	写真 5-77	紙本著色益田兼堯像……………	93
写真 5-20	山の恵み（トチの実）……………	81	写真 5-78	万福寺庭園……………	93
写真 5-21	中ノ坪遺跡……………	81	写真 5-79	医光寺庭園……………	93
			写真 5-80	大喜庵……………	93
			写真 5-81	乙吉大喜庵雪舟の墓……………	93

写真 5-82	雪舟灰塚	93	写真 5-141	妙義寺桜谷五輪塔（伝益田藤兼の墓）	107
写真 5-83	紙本墨書原屋家文書	93	写真 5-142	夏山墓地	107
写真 5-84	出土銭貨	93	写真 5-143	熊祭り	107
写真 5-85	横山城跡	93	写真 5-144	白上の祖霊社	107
写真 5-86	糸魚川産翡翠製玉	96	写真 5-145	三葛神楽	109
写真 5-87	陶製経筒五口	96	写真 5-146	三葛神楽木彫面	109
写真 5-88	沖手遺跡	96	写真 5-147	道川神楽	109
写真 5-89	福王寺石造十三重塔	96	写真 5-148	三谷神楽	110
写真 5-90	東仙道土居遺跡出土陶磁器	96	写真 5-149	丸茂神楽	110
写真 5-91	粟島原遺跡出土品	96	写真 5-150	匹見神楽	110
写真 5-92	中須東原遺跡	97	写真 5-151	久城神楽舞	110
写真 5-93	中須東原遺跡	97	写真 5-152	神楽木彫面	110
写真 5-94	絹本着色益田元祥像	97	写真 5-153	種神楽舞	110
写真 5-95	益田藤兼書状（三月二十日/杵築別火氏宛）	97	写真 5-154	中垣内の廻り舞台	110
写真 5-96	再現された「中世の食」	97	写真 5-155	中垣内の廻り舞台	110
写真 5-97	華南三彩壺	97	写真 5-156	うつうた一座	110
写真 5-98	中世今市船着場跡	98	写真 5-157	道川囃子田	111
写真 5-99	飯浦の港町	98	写真 5-158	内谷囃子田	111
写真 5-100	ホーランエー	98	写真 5-159	土佐本田植哥草紙	111
写真 5-101	美濃地の一里塚	99	写真 5-160	益田糸操り人形	111
写真 5-102	中島の藩境石（浜田藩）	99	写真 5-161	糸操り人形の頭および胴	111
写真 5-103	二条の藩境石	99	写真 5-162	山本（加藤）三吉の墓	111
写真 5-104	山陰道鎌手峠の石畳	100	写真 5-163	笹倉八幡宮獅子頭	111
写真 5-105	山陰道遠田の石畳	100	写真 5-164	板井川新宮神社獅子頭	111
写真 5-106	飯浦の港町	100	写真 5-165	志賀団七踊り	111
写真 5-107	蟠竜湖疎水	100	写真 5-166	向横田節	112
写真 5-108	右田本店	100	写真 5-167	櫛代賀姫神社の神事	112
写真 5-109	芋塚（遠田）	100	写真 5-168	都茂鉦山の絵図	114
写真 5-110	国東治兵衛頌徳碑	100	写真 5-169	美濃地屋敷	114
写真 5-111	高津の蠟座跡	100	写真 5-170	津島家金屋子文書	114
写真 5-112	喜阿弥焼窯跡	100	写真 5-171	大鳥たたら跡	114
写真 5-113	岸静江国治の墓及び扇原関門跡	101	写真 5-172	本谷山たたら跡	114
写真 5-114	万福寺本堂に残る弾痕	101	写真 5-173	馬谷城山鉦山の六方石	114
写真 5-115	漕ぎの河原	101	写真 5-174	小川家木地屋文書	114
写真 5-116	戸田柿本神社	102	写真 5-175	足踏み轆轤一式	114
写真 5-117	人麿御廟所	102	写真 5-176	大久保広兼石州和紙資料館	114
写真 5-118	人麿御童子像と付帯像	102	写真 5-177	とち餅	115
写真 5-119	鴨島遠望地	103	写真 5-178	益田索道	115
写真 5-120	松崎の碑	103	写真 5-179	美都の柚子	115
写真 5-121	教西寺の木造阿弥陀如来立像	103	写真 5-180	鶴飼い	115
写真 5-122	高津柿本神社本殿	103	写真 5-181	鮎つり	115
写真 5-123	柿本神社御法楽御短冊	103	写真 5-182	わさび田	115
写真 5-124	大久保長安寄進の鉄灯籠	103	写真 5-183	剣先の堰堤	115
写真 5-125	高津の道標	103	写真 5-184	水神の森	115
写真 5-126	喜阿弥滑の道標	103	写真 5-185	匹見発電所本館	115
写真 5-127	土偶・玉類・土製品	106	写真 5-186	高角橋	117
写真 5-128	染羽天石勝神社の滝	106	写真 5-187	中島の高津川旧河道	117
写真 5-129	阿那観音	106	写真 5-188	「昭和の洪水未曾有の豪雨哀と潤を産む」の碑（二川）	117
写真 5-130	絹本着色二河白道図	106	写真 5-189	益田川災害復旧竣工記念碑	118
写真 5-131	絹本着色釈迦十六善神図	106	写真 5-190	58 水害時の水位の標示	118
写真 5-132	阿弥陀如来立像	106	写真 5-191	匹見町豪雪山村開発総合センター	118
写真 5-133	水分経塚	106	写真 5-192	広見の集落跡の碑	118
写真 5-134	森ヶ湯塚遺跡の仏像と礫石経	106	写真 5-193	「緑の工場」1500ha 達成記念モニュメント（匹見）	118
写真 5-135	藁蛇神事	106	写真 5-194	メイズ匹見	118
写真 5-136	水田ノ上遺跡の配石遺構	107	写真 5-195	夢ファクトリーみささ	119
写真 5-137	中小路遺跡の土器棺墓	107	写真 5-196	高島	119
写真 5-138	南長迫横穴群	107	写真 5-197	村おこし社	119
写真 5-139	鶴の鼻古墳群の副葬品	107	写真 6-1	七尾まつりの時代行列	125
写真 5-140	東仙道土居遺跡出土石塔	107			

写真 6-2	雪舟さんまつりの雪舟小僧さんによるみこし .....	125
写真 6-3	柿本神社(高津)の八朔で行われる流鏝馬…	129
写真 6-4	匹見地区の民俗文化財を訪ねるウォーキング イベント .....	133
写真 6-5	清流高津川いかだ流し大会 .....	135
写真 6-6	山陰道鎌手保存会が実施した山陰道ウォーク .....	137
写真 7-1	益田市の歴史文化を授業に取り入れる方法を 考えるワークショップ .....	141
写真 7-2	「わたしたちのまち発見事業」によるバスを 利用したまち歩き .....	142
写真 7-3	東京益田会と益田市の懇談 .....	143
写真 7-4	近畿益田会総会 .....	143
写真 7-5	広島益田会総会 .....	143
写真 7-6	古文書購入のための寄附金贈呈式 .....	143
写真 7-7	国立歴史民俗博物館の共同研究の現地調査 .....	144
写真 7-8	中世都市研究会益田大会平成 26(2014)年 .....	145
写真 7-9	石見の戦国武将展 .....	147
写真 7-10	中世の食から派生した島根県立石見美術館 のコレクション展とのコラボレーション企 画「中世益田を感じられる一品料理」 .....	147
写真 7-11	まわって集めよう！益田氏の武将カード .....	147

写真 5-76	医光寺所蔵
写真 5-83	個人蔵
写真 5-86	写真提供：島根県立古代出雲歴史博物館
写真 5-87	豊田神社所蔵。写真提供：島根県立古代出雲 歴史博物館
写真 5-94	島根県立石見美術館
写真 5-96	益田「中世の食」再現プロジェクト
写真 5-97	万福寺所蔵
写真 5-118	戸田柿本神社所蔵
写真 5-121	教西寺所蔵。写真提供：島根県立石見美術館
写真 5-123	高津柿本神社所蔵
写真 5-124	高津柿本神社所蔵
写真 5-130	万福寺所蔵
写真 5-131	泉光寺所蔵
写真 5-132	暁音寺所蔵。写真提供：島根県立石見美術館
写真 5-139	個人蔵
写真 5-159	個人蔵
写真 5-163	笹倉八幡宮所蔵。写真提供：島根県立古代出 雲歴史博物館
写真 5-164	板井川新宮神社
写真 5-168	個人蔵
写真 5-170	個人蔵
写真 5-174	個人蔵
写真 5-180	益田市立歴史民俗資料館
写真 5-192	『匹見町誌一現代編一』、匹見町誌編纂委員 会、2007 年。写真提供：山陰中央新報。
写真 7-9	島根県立石見美術館
写真 7-10	島根県立石見美術館

## 写真提供

写真の掲載にあたっては、下記の所有者あるいは関係機関から写真の提供を受けています。  
なお、下記に「●●所蔵」とあるものは、特に断りのない限り、益田市が撮影した写真を使用していることを表します。

写真 1-1	益田市立歴史民俗資料館
写真 1-4	『匹見町誌一現代編一』、匹見町誌編纂委員会、 2007 年。写真提供：山陰中央新報。
写真 1-6	国土地理院空中写真より益田市が作成
写真 2-9	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター
写真 2-17	京都大学附属図書館
写真 2-18	東京大学史料編纂所
写真 2-20	浜田市教育委員会
写真 2-21	津和野町教育委員会
写真 2-22	益田市立歴史民俗資料館
写真 5-25	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター
写真 5-26	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター
写真 5-32	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター
写真 5-44	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター
写真 5-45	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター
写真 5-65	東陽庵所蔵。写真提供：島根県立古代出雲歴史 博物館
写真 5-66	大喜庵所蔵
写真 5-67	妙義寺所蔵。写真提供：島根県立石見美術館
写真 5-75	万福寺所蔵